

「外科手術の醍醐味とは？」、最近私にとってしばしば脳裏に浮かぶテーマである。このことは、取りも直さず、若き医学生や研修医に外科の興味と奥の深さ、そして意義を伝える局面においてその源泉となるべきものであり、さらに外科学および自分自身の外科医としての「これまでとこれから」を位置付ける観点として重要と考えるからである。

そのような視点からみると、今回特集テーマとして取り上げた「T4 の癌」もしくは「隣接臓器浸潤癌」は、いずれの臓器においても高度な手術手技が求められるのみならず、術前診断の精度、手術に限らず他の治療法も含めた広範な知識にもとづいた治療戦略の構築、そして的確な術中判断が問われる病態であり、まさに外科学の王道の一つであることに変わりはない。

一方、衆知のごとく近年の外科学の「パラダイムシフト」ともいうべき内視鏡下手術の発展と普及は、低侵襲手術もしくは整容性を向上させる手段として、多くの患者さんに大きな恩恵をもたらした。さらに、robotic surgery や tele surgery など、医療技術の発展はとどまるところを知らない現況にある。

ここで、このような「内視鏡下外科手術時代」における「外科教育」を少し考えてみたい。私どもが外科医を志し、修練を開始した時代には、外科手術の入門編ともいうべき疾患、すなわち ①虫垂炎手術（敢えて「アッペ」と述べます、以下同様）、②痔疾患（「ヘモ」）、③「ヘルニア」など、研修医が率先して手術の機会をうかがっていたものである。しかしながら、最近の疾患治療戦略や医療環境の変化、そして医用材料の進歩などにより、①「アッペ」も（その是非はともかくとして）何でも切る時代から、待機例も増加し、さらには内視鏡下手術が導入される状況となり、②「ヘモ」もある特定の専門病院で多く治療される疾患となり、さらに③「ヘルニア」も小児疾患は別としても、成人例では人工材料を用いた補填による手技が広く行われるようになってきた。すなわち若き外科修練医にとって、以前のように学び接する頻度の高い疾患ではなくなってきている。

さらに、以前は卒後2年目、3年目でも経験できていた「ヒョレ」や「マーゲン」「コロソ」の手術も、病変が複雑でなく、また早期の病変は、多くが内視鏡下手術が施行され、その術者となるには、社会状況の変化とあいまって若い外科医からは遠ざかっていると言わざるを得ない。さらには単孔式手術や robotic surgery などの導入により、これらの手術は「一人」の専門外科医の手「のみ」により施行されるのが現況である。では、例えば開腹手術などの従来からのアプローチの手術はどうかというと、今回特集したような高度進行病変がその対象の中心となり、高度な経験と技術を有した外科医の手にゆだねられることになる。

若者がその進路を考えるとときに、10年後20年後の希望や夢とともに、1～2年先輩の姿を参考にすることは当然であろう。以前は将来の大きな夢とともに、1～2年先輩が手術を行っている姿に魅力を感じて、外科医を志した人も少なくないではないか。今はすぐ上級の先輩に外科医としての姿を見出しにくいのも現実となっている。現在の外科を志す若者の減少の原因は今まで多く述べられていることに異論はないが、このような現況も、やや関係しているのではないかと懸念を抱くのは私だけであろうか。

外科学の目覚ましい進歩を言祝ぐと同時に、若き外科医の新たな教育の在り方を再考する時が来ている。

(桑野博行)

臨床外科 (第66巻第2号)

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23
☎ 社内案内 (03) 3817-5600
販売部直通 (03) 3817-5659・5660
振替口座 00170-9-96693 番

2011年2月20日発行 (毎月1回20日発行)

定価 2,730 円 (本体 2,600 円 + 税 5%)

2011 年年間購読料
冊子のみ 40,160 円 冊子 + 電子版 52,200 円
電子版/個人 40,160 円 電子版/共有 46,190 円
増刊号を含む 13 冊、税込、送料小社負担

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5708
ファクシミリ (03) 3815-7802
E-mail : ringe@igaku-shoin.co.jp
担当 川村・田村・安部
印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005
広告申込所 日本医学広告社 電話 (03) 5226-2791

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2011, Printed in Japan
- 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- JCOPY (社)出版者著作権管理機構 委託出版物)
本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- 「臨床外科」ホームページは <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/ringe/> です。